気象学の正しい理解が必要……島貫　陸

第14回（台風特集）1980年

台風の構造と発生・発達について……山岬正紀

台風の数値実験……北出武夫

台風の解析と予報……上坂慶正

「ひまわり」から見た台風……山下　洋

台風業務実験……平塚和夫

台風と災害……奥田　穣

降水の確率予報……立平良三・保科正男

第15回（熱収支と気候変動特集）1981年

最近の気候変動と異常気象……能登正之

太陽放射と地球放射……会田　勝

簡易日射計の考察……会田　勝

気象衛星写真の見方……柴田　宣

気候に影響する大気中の微量成分……三崎方郎

配付価格

第5回　700円

第9，11回　1,000円

第14～16回　1,000円

第17回　1,300円

○気象学への手引　350円

続・気象学の手引　850円

○構造物の耐風性に関するシンポジウム論文集

第1回（1970年）　1,500円

第2回（1972年）　2,000円

第3回（1974年）　2,500円

第4回（1976年）　3,000円

第5回（1978年）　3,500円

○風工学シンポジウム論文集

第6回（1980年）　3,500円

第7回（1982年）　4,500円

○百周年記念事業関係

「天気」29巻4号（記念号）　（会員　850円／一般　1,200円）

「気象集誌」60巻1号（記念号）　（会員　3,000円／一般　4,000円）

日本気象学会100年史　400円

○WMO Programme on Research in Tropical Meteorology　2,200円

MAP 国際シンポジウム（京都）のお知らせ

下記のとおり，今秋京都においてMAP（中層大気国際協同観測計画）の国際シンポジウムが開催されます．このシンポジウムはMAPに参加している世界各国の研究者が最新の成果を発表する場であり，現在国内国外合わせて100編を越える論文の発表が予定されています．この分野に関心をお持ちの会員の参加を歓迎します．

時　期　昭和59年11月26日（月）～30日（金）

場　所　新都ホテル（京都駅前）

主　催　京都大学超高層電波研究センター

共　催　SCOSTEP, COSPAR, URSI, IAGA, IAMAP, 日本気象学会，日本地球電気磁気学会

内　容　Ⅰ．中層大気の climatology，Ⅱ．大規模波動力学，Ⅲ．重力波と乱流，Ⅳ．大気組成・エアロゾルの輸送過程，Ⅴ．南極大陸の中層大気

参加費　一般 15,000円，学生及び同伴者 10,000円

問い合わせ先　（シンポジウム事務局）

〒611 京都府宇治市五ケ庄
京都大学超高層電波研究センター
TEL. 0774-32-3111
（代表）松本　紘 助教授